神社地区 まちづくり協議会だより

第9号
令和2年９月1日

新型コロナウイルス感染防止対策下における まちづくり協議会活動

神社地区の皆様、連日の新型コロナウイルス感染拡大の情報に、猛暑の中、不安な毎日を過ごされておられることと思います。

春先の第一波終息の後、第二波の感染拡大の中で、市を通じてイベントや活動の自粛要請を受け、当協議会に於いても、令和2年度の活動に著しい制約を受けています。

例年、5月中旬に実施される定期総会は、今年は、代議員が多数集まる会議の形態をやめ、文書による書面議決として、新年度の役員体制、予算、事業計画などを決定しました。

また、毎年好評の7月の夏まつりは、周囲の状況を勘案し、かつ、3蜜を避けての開催は不可能であるとの理由により、役員会に於いて中止を決めました。

当協議会では、主たる事業の一つとして、これまで、防災対策事業を推進してきました。その中に「避難所運営事業」がありますが、今や、避難所内での感染防止対策をどうするかが、これからの活動の新たな課題となりました。

防災訓練の風景

このようなわけで、本年度は暫く当協議会活動を縮小することになります。しかしながら、市の指導の元に、新型コロナ感染防止に万全を期して、少しでも、地域の皆さんを、元気づける活動が再開できるように、努力いたしますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

ほっとほっとフェスタの風景

協議会の組織は

総会（自治会、団体等から選出された代議員と公募代議員で構成）

役員会（総会において互選する会長、副会長、会計、理事で構成）

事務局（事務局長は役員会の承認を得て会長が任命する）

- 安心して住めるまちづくり委員会
- 人にやさしいまちづくり委員会
- 楽しく元気なまちづくり委員会

（委員会は代議員と参加を希望する住民で構成する）

事務局からのお知らせ

残念ながら、本年度は「新型コロナ」の年となってしまいました。そのため、感染拡大終息の兆しが見えるまでは、活動、各種委員会共に暫く、様子見と言うことになります。但し、当協議会事務局は予定通り開所していますので、何か、ご用がありましたら、お気軽にご連絡をお願いいたします。

令和２年度活動事業計画 2020.8.10

事業名	実施予定時期	事業概要
1.健康増進事業（健康体操）	秋	講師指導による、足腰を鍛えながら楽しい健康体操
2.夏まつり	中止	5町の老若男女こぞっての夏まつりイベントで絆づくり
3.防災対策事業	通年	各町ごと、又は全体で震災を中心とした講演会や体験訓練を実施
4.スポーツ振興会との共同事業	通年	町民運動会など各種スポーツによる絆づくり事業
5.3世代交流事業	未定	トーク、健康測定、子供工作など3世代交流での絆つくり
6.研修事業	未定	まちづくり活動先進地視察研修
7.きれいなまちづくり ①花いっぱいのまち ②美化運動	3月(予定) 未定	5町のまちを花で飾るきれいな町づくり清掃などによる地域の美化運動
8.広報	通年	ホームページ管理

神社地区まちづくり協議会事務所

神社地区まちづくり協議会
〒516-0004　伊勢市神社港262-1
TEL：0596-65-7145　FAX：65-7146
Eメール：kamimachi@abelia.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.kamiyashiro.com/
事務所開所日時　原則　月・水・金曜日
午前９時から午後３時

令和２年度役員体制 2020.8.10

役職	氏名	選出団体等
会長	神生　修	竹ヶ鼻町自治会
副会長	中北　善明	（ご逝去）
	西田　稔	公募者（小木町）
会計	太地　哲成	公募者（下野町）
理事	濱村　秀男	神社港自治会
	中西　一郎	竹ヶ鼻町自治会
	林　卓生	馬瀬町町内会
	中川　直人	小木町
	鈴木　信宏	下野町自治区
	出口　勉	委員長（竹ケ鼻町）
	古川　善正	委員長（下野町）
	西　高秋	委員長（馬瀬町）
監事	大西　優	公募者（神社港）
	浦野　卓久	公募者（馬瀬町）
事務局長	田中　敏伸	下野町

令和元年度 事業活動

土曜授業（体験型防災学習）

震災に遭遇し、避難所生活を余儀なくされた場合どうなるの！

令和元年八月三十一日、神社小学校４年生、６年生児童、およそ九〇名を対象に土曜授業として「体験型防災学習」を実施しました。

授業では、まず三重大防災・減災センターの職員さんによるクイズ形式の講演がありました。

その後、クラスに分かれ、避難所での簡易トイレ、スペース、また、段ボールベッド体験などで、災害時の避難所とはどんな環境かを、子どもたちは身をもって学習していました。

屋上での避難体験

ブルーシートによるスペース体験

ほっとほっとフェスタ

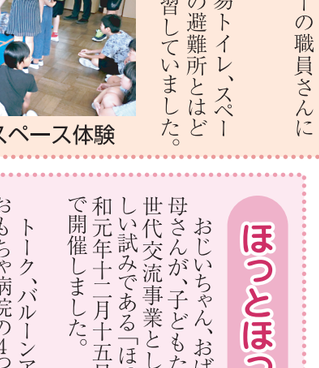
おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんが、子どもたちと一緒に楽しめる三世代交流事業として、当地区としては新しい試みである「ほっとほっとフェスタ」を令和元年十二月十五日に神社小学校体育館で開催しました。

トーク、バルーンアート、健康測定相談、おもちゃ病院の４つの広場とプラバン、ミサンガ、ストロー飛行機、簡単たこの４つの子ども工作コーナを準備して、来場者を待ちました。

当日は、朝から北風が冷たく来場が心配されましたが、十時頃には各広場、コーナ共に多数の方で賑わいました。

最後に、折り紙飛行機大会で、子どもたちは盛り上がり、新しいイベントは無事終了となりました。

トークの広場（漢字る漫談）


バルーンアートの広場

子ども工作コーナ（プラバン）

子ども工作コーナの風景

健康測定相談の広場

町民運動会（二人三脚）

町民運動会

台風一七号の襲来で、実施が危ぶまれましたが、第四〇回となる「町民運動会」を、令和元年九月二十二日神社小学校運動場で開催しました。

ムカデ競争、二人三脚、徒競走など盛りだくさんの種目があり、参加者は快い汗をかきながら競技を楽しんでいました。

しかしながら、徐々に接近してくる台風の影響で、昼近くになり風が強くなり始めたために、残念ながら午前中で競技は終了となりました。

防災訓練

南海トラフ地震などの災害に備え、ことしも避難体験、避難所環境体験による「防災訓練」を開催しました。

北風が和らぎ、晴れ間が見える令和二年二月二日午前九時、神社小学校への避難に続き、避難所での受付体験の後、屋外ではしご車試乗、煙道脱出、屋上避難訓練、また、屋内では避難所スペース、間仕切り、簡易トイレ体験などを実施しました。

避難所スペース、間仕切り体験

簡易トイレ体験

町民、スタッフ、市職員に合わせ三重大、消防職員、地元消防団などの協力もあり、寒い中約二二〇名の皆さんが、熱心に取り組まれました。

最後に、三重大学の川口准教授から訓練の総評で南海トラフ地震の発生確率が如何に高いかなどの話があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

花いっぱいのまちづくり

新型コロナウイルス問題が連日報道される中、感染予防に留意して“花で飾ろう我が町を”を合言葉に「花いっぱいのまちづくり」運動を令和二年三月二十八日開催しました。

今回は、丈夫で育てやすい「ベゴニア」を選定し、応募の三二世帯の方々に、赤、ピンク、白の三色のベゴニア鉢を配布しました。

配布された花鉢は、玄関や通りから見えるところに飾り、花いっぱいのまちづくりを目指します。

配布受付の様子

赤、ピンク、白3色のベゴニア花鉢 ▶

令和2年度　協議会代議員のみなさん（順不同）

団体名等	代議員名
自治会 町内会	【神社港】　濱村秀男、沖林宏一、福田　茂、長野憲照、北川美帆 【竹ヶ鼻町】　神生　修、出口　勉、中西一郎、高木　勲、小西正宏 【小木町】　中川直人、下倉　明、大西光夫、藤川修一、中川浩行 【馬瀬町】　林　卓生、堀佐登司、中北善千、中川雅司 【下野町】　鈴木信宏、荒木久生、小鈎広生、鈴木清子、古川善正
小中学校ＰＴＡ	【神社小学校】 濱口圭亮　【港中学校】 森紅留実
小中学校長	【神社小学校】 西川泰正　【港中学校】 金森晃生
民生・児童委員	【馬瀬町】中西和雅　【下野町】古川香春子
消防団	【下野町】下林敏志
老人クラブ	【神社港】中村　清　【竹ヶ鼻町】出口勝久　【小木町】粟田眞一 【馬瀬町】南　誠一　【下野町】奥田和長
スポーツ振興会	【馬瀬町】中北善明（ご逝去）
ＮＰＯボランティア団体	【神社みなとまち再生グループ】中西恒壽
公募者	（神社港）大西　優、（小木町）西田　稔、（馬瀬町）浦野卓久、西　高秋 平賀竹子、宮本伸子、（下野町）太地哲成、西井弘紀（社協）中村将純